



スーダン

今井 高樹

新年を迎えて職場のカレンダーを掛け替えようとしていたら、同僚の Sudanese, サイモンさん

黒人の誇り オバマ氏

（金）が特大のカレンダーを持ってきた。見ると次期米大統領の写真入り「オバマ・カレンダー」だった。

「植民地時代からずっと、アフリカが世界の表舞台に立つことはなかった。だから、アフリカの

血を引く彼の大統領就任は歴史的なのさ」と語るサイモンさん。オバマ新大統領は彼らの誇りなのだ。

職場の同僚のオケチさん（30）は、新大統領の父親の出身民族ルオ族と言語、文化を共有するアチ



「オバマ・カレンダー」を手にするサイモンさん

ヨリ族に属する。「アフリカのニュースと言えは悪いことばかりだけど、たまにはいいこともあるのさ」と彼は笑う。

南部スーダンからケニア西部にかけて住む彼らの民族グループには、ひとつの分かりやすい特徴がある。ほとんどの名前が「オ」で始まるのだ。オケチ、オケロ、オディンガ、そして「オバマ」新大統領もこの民族の刻印を受け継いでいる。就任式を間近に控えた新大統領に今、アフリカ中が注目している。

◇

いまい・たかき 北大卒業後、会社員を経て2007年5月から日本国際ボランティアセンター職員としてスーダン南部ジュバに駐在。46歳。